

人と人がつながり 幸せが循環するまち

ASAGO

2022
NO.205

4

広報朝来

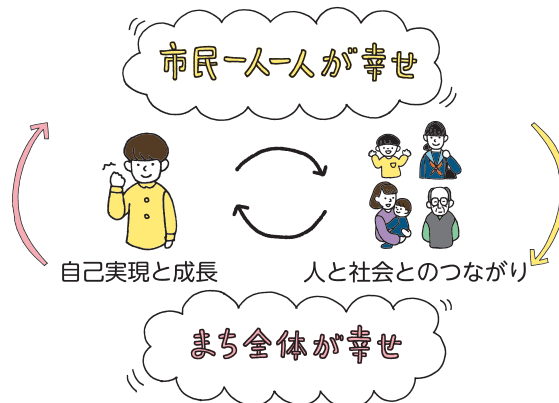


第3次朝来市総合計画がスタートします！

朝来市が目指す将来像

人と人がつながり 幸せが循環するまち

～対話で拓く朝来市の未来～



まち全体が幸せであるために、まず市民一人一人が幸せを実感できることが大切です。朝来市は、市民一人一人が人と人とのつながりの中で、「自己実現と成長」「人や社会とのつながり」を感じ、幸せを実感するとともに、その幸せが新たな幸せを創出し、まち全体が幸せであふれる「幸せが循環するまち」をめざします。

令和4年度においては、「幸せと暮らしを守る道のり予算」として、「子育て・教育支援の充実」、「高齢者・障害者への福祉支援の充実」、「農林業の振興と地域経済の活性化」をテーマに編成し、各種施策に取り組んでまいります。

そこで第3次朝来市総合計画の6つのありたいまちの姿に基づき、令和4年度の主要な事業などについて説明します。



令和4年度施政方針

令和4年度は、「第3次朝来市総合計画」と「第4次朝来市行財政改革大綱」を基本に据え、財政規律を遵守した健全な財政運営を維持し、誠実かつ公正な市政運営に取り組みます。

第3次総合計画で掲げる将来像「人と人がつながり 幸せが循環するまち」対話で拓く朝来市の未来」を実現するため、既存の取り組みをさらに研ぎ澄ましたものにするともに、人と人、地域と地域のつながり・支え合いから新たな価値観、個性を育み、生活満足度の向上と社会経済活動の安定・高度化に果敢に取り組みます。

また、より確実に進めていくために、第4次行財政改革大綱の基本方針である「歳入確保の推進」、「歳出の効果的かつ効率的な実行」、「職員の育成と組織力の強化」を進め、官民連携して創意工夫を図りながら、新たな取り組みを適切に推進します。

さらに、頻発する集中豪雨や新型コロナウイルスなどの脅威に備え、平時から「防災」と「減災」の推進、多様な災害に迅速に対応する災害対応力を充実強化し、個人と社会の安全、安心の確保を図ります。

令和4年度当初予算編成方針

令和4年度一般会計予算は202億5千万円で、前年度当初予算額187億3千万円（骨格予算）と比較して、15億2千万の増、令和3年6月補正後予算199億9,530万円（肉付け予算）と比較し、2億5,470万円の増となっています。

市税は、景気のゆるやかな回復などの影響により個人市民税、法人市民税ともに若干の増収を見込んでいますが、固定資産税の減収を見込んだ結果、前年度より7,600万円少ない41億1,445万円としています。

地方交付税は、地方財政計画では3.5割の増とされており、普通交付税は66億3千万円、特別交付税は10億円を見込み、地方交付税総額では76億3千万円としています。

市債は、道路橋梁新設改良事業債、市営住宅等整備事業債の発行などにより、9億2,450万円を予算措置しています。

歳入は、地方財政計画などに基づき、適切に予算措置しておりますが、なお不足する4億5千万円については、財政調整基金繰入金で対応することにより、収支均衡を図る予算としています。

引き続き将来にわたって効率的で健全な行財政運営を実現するための取り組みを推進します。



ありたいまちの姿 1

「やりたい」につながる多様な学びで、 未来をつくる「人」を育む

子どもから大人まで様々な学びの場をつくることにより、市民一人一人のシビックプライドや主体性を育みます。また、多様な価値観・考え方などを互いに認め合うことで、まちをも楽しくする自分らしい生き生きとした活動（経済活動含む）をつくる人材が育まれるまちをめざします。

- ▼小中学校特色ある学校づくり事業 326万円
 - 児童・生徒がふるさとの豊かな自然や伝統文化、地域の人々に触れる体験を通して、「生きる力」や「ふるさとを愛する心」を育むため、特色ある学校づくりに取り組みます。
- ▼小中学校教育振興事業 1億1,274万円
 - 児童・生徒や教職員がICT機器を効率的・効果的に利用できる学習環境の整備・充実を図るなど、児童・生徒が安心・安全で健やかに成長できる環境づくりに取り組みます。
- ▼体育施設整備事業 500万円
 - 【全天候型運動施設候補地調査】
 - 市民の運動機能の向上や高齢者の生きがいづくりの場として全天候型運動施設整備に向けた、候補地の調査を実施し、検討を進めます。
- ▼適応指導教室事業 607万円
 - 何らかの理由により学校へ行けないなどの状態となった児童・生徒の新たな居場所として設置した適応指導教室「すまいるルーム」を活用し、社会的自立に向けたサポートの充実を図ります。
- ▼人権啓発・教育推進事業 415万円
 - ▼男女共同参画事業 306万円
 - すべての人の人権が尊重され、多様性を認め合いながら誰もが自分らしく生きることができる社会の実現に向け、男女共同参画の推進、同和問題をはじめとするあらゆる差別の解消、また、インターネットによる人権侵害や性的マイノリティに対する偏見などの新たな人権課題に対する人権教育や啓発活動を推進します。
 - 【その他】
 - ▼文化会館自主文化事業 2,390万円
 - ▼文化会館施設等整備事業
 - 【和田山ジュビターホール整備】2,600万円
 - ▼図書館整備事業
 - 【あさご森の図書館LED化】1,770万円
 - ▼美術館企画展事業 1,442万円
 - ▼英語教育強化事業 91万円
 - ▼スクール・サポート・スタッフ配置事業 629万円
 - ▼森はな文学普及事業 10万円



ありたいまちの姿 2



人と自然が共生しながら 地域で循環する産業を確立する

人の暮らしや営みとともにある自然との共生を図りながら、朝来市が持つ資源・魅力と市外の活力をつなげ、時代にあわせて進化し、内発的な経済力を高め、地域で循環する産業が確立されたまちをめざします。



▼競争力強化による「稼ぐ地域」創造事業

2, 320万円

農業従事者の著しい高齢化や担い手不足などの課題解決、「儲ける農業」を実現するため農産物のブランド化など、魅力ある産業としての農業の推進に取り組みます。

▼天然記念物保護活用事業

【黒川エリア自然環境基本構想】200万円

【百本オオサンショウウオの会朝来大会】

150万円

オオサンショウウオをシンボルとした「人と自然との共生」を推進し、世界に誇れる自然環境を保全するため黒川エリアの自然環境保護に関する基本構想を策定します。また「日本オオサンショウウオの会朝来大会」をNPO法人日本ハンザキ研究所と共催で開催します。

▼日本遺産5周年記念事業

3, 790万円

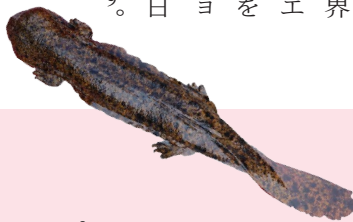
日本遺産認定5周年を契機とし、公園などの整備、企画展や講演会、関連イベントの実施により、日本遺産の認知度向上と活用に向けた市民参加の機運醸成を推進します。

【その他】

▼森林経営管理事業 8, 260万円

▼環境保全推進事業

【地球温暖化対策実行計画(事務事業編)】350万円



ありたいまちの姿 3

多様なつながり・交流を育み、 地域力をより高める

人と人のつながり・交流を育むことで様々な活動につなげ、多様な人が参画する地域コミュニティの充実を図るとともに、移住定住の推進や関係人口の創出等の新たな力により、地域力がさらに高まっているまちをめざします。



▼住みたい田舎移住促進プロジェクト事業

4, 933万円

▼地域自治協議会支援事業

7, 658万円

▼定住促進事業

4, 673万円

若者・子育て世代などの移住・定住を促進するため、体験住宅利用によるあさご暮らし体験事業や空き家バンク事業、新規就農者支援などに継続して取り組むほか、地域自治協議会などとの連携により移住された皆さんが安心して地域で生活できる支援に取り組みます。

▼地域協働推進事業

【文化財課配置地域おこし協力隊】429万円

地域の課題解決や活性化を図るため、現在活動している地域おこし協力隊6人に加え、オオサンショウウオ調査研究や普及啓発、地域活性化を目的とした地域おこし協力隊員を新たに1人配置します。





ありたいまちの姿 **4**

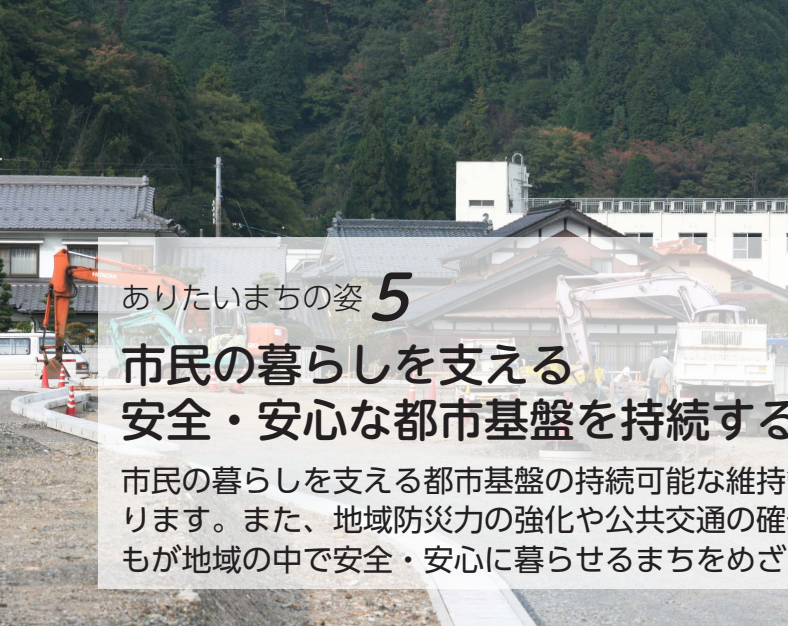
**誰もが居場所や役割を持ち、
健幸で心豊かな暮らしを実感できる**

世代などを超えて、市民一人一人が地域とつながり、誰もが地域の中で居場所や役割を持つことで、地域の人々に囲まれ安心した子育てや暮らしが実現できるとともに、市民一人一人が生きがいを感じながら健幸で心豊かな暮らしを実現できるまちをめざします。



- ▼ファミリー・サポート・センター事業 290万円
- ▼母子保健事業 856万円
- ▼妊婦健康診査費助成、不妊・不育症治療費助成、妊娠・出産包括支援事業 子育て世代包括支援センター2,718万円
- 核家族化や移住など「子育て」に関わる環境の変化の中で、子育てを助け合う地域相互援助活動を支えるため、ファミリー・サポート・センターを設置します。センターには、ファミリー・サポート・アドバイザーを配置し、円滑な援助活動が行えるよう取り組みます。
- 子育てに関する総合相談窓口「子育て世代包括支援センター」において、専任職員である助産師を中心に、妊娠や出産、子育てに関する相談に対応するとともに、アプリなどを活用して情報発信し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援に取り組みます。

- ▼障害者（児）地域生活支援事業
〔訪問入浴サービス事業〕 131万円
〔手話通訳者配置〕 281万円
- 身体上の障害があり日常生活を営むのに支障がある身体障害者（児）に対して、訪問入浴サービス事業を実施し、介護者の身体的および精神的な負担軽減を図ります。
- 手話は「言語」であるとの理解を深め、市民が手話に関心や親しみが持てるよう手話に触れ、学べる機会の充実、普及啓発に取り組みむとともに、安心して市役所を利用いただけるため、手話通訳者を配置します。
- ▼健幸づくり推進事業 230万円
- ▼地域医療対策推進事業1, 253万円
- ▼がん対策事業 3, 807万円
- 従来の総合健診の検診項目に新たに胃がんリスク検診を追加し、胃の健康状態や胃がん発生リスクを確認することで、定期的な胃がん検診の受診を推奨し、市民の健康増進を図ります。
- 【その他】
- ▼ひきこもり対策推進事業 231万円
- ▼出生祝事業 196万円
- ▼家庭児童相談事業 549万円
- ▼保育料軽減事業 649万円
- ▼山東いこいの家事事業 70万円
- ▼老人クラブ支援事業 970万円



ありたいまちの姿 **5**

市民の暮らしを支える 安全・安心な都市基盤を持続する

市民の暮らしを支える都市基盤の持続可能な維持管理・運営を図ります。また、地域防災力の強化や公共交通の確保等により、誰もが地域の中で安全・安心に暮らせるまちをめざします。

▼道路橋梁新設改良事業

4億2,140万円

▼地籍調査事業

4億200万円

市民生活の基盤である道路交通の安全確保、橋梁長寿命化計画に基づく点検および補修工事、国土調査法に基づく地籍調査事業に取り組みます。また、大雪に対する危機管理、除雪体制についても見直しを進めます。

▼公園整備事業〔琵琶の丸健康公園整備〕

3,000万円

▼こどもの広場整備事業

〔くじら前広場、朝来体育館前遊具設置〕

580万円

身近で安心して遊べる場所づくりとして、幼児を対象とした遊具を完備したキッズパークの整備など親子の居場所・遊び場づくりに取り組みます。

▼災害対策事業〔災害情報システム構築〕

146万円

市民の安全を確保するため、詳細な地域単位での避難情報などの発令を可能とする災害情報システムを導入します。

〔その他〕

▼街なみ環境整備事業 938万円

▼消防団活動事業 6,966万円

▼定住促進住宅整備事業 5,800万円

▼路線バス等生活交通利用促進事業

2,363万円

ありたいまちの姿 **6**

まちの動きや情報を戦略的につなぎ、 効率的で健全な行財政運営を実現する

市民との対話を大切にするとともに、まちの動きや情報を市民と共有することで、市民自治のまちづくりをさらに推進します。また、持続可能で自律した自治体運営を推進するため、効率的で健全な行財政運営を図るとともに、市民とともにある、市民に信頼される職員・市役所をめざします。

▼DX推進事業 1億1,093万円

デジタル社会の構築に向けた取り組みをスタートさせるため「デジタル戦略課」を設置します。国の「自治体デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画」の方針を踏まえ、市民の利便性の向上や業務の効率化を図るための方針策定などに取り組みます。

▼ふるさと寄附金事業

3億5,000万円

ふるさと寄附制度を活用し市が誇る地域資源の認知度を向上させるとともに、いただいた貴重な財源を有効活用し、効果的な事業実施に取り組みます。

▼庁舎整備事業（生野庁舎等）

5,380万円

生野庁舎等整備について、基本設計業務に引き続き実施設計業務に取り組みます。

▼公立豊岡病院組合特別負担金

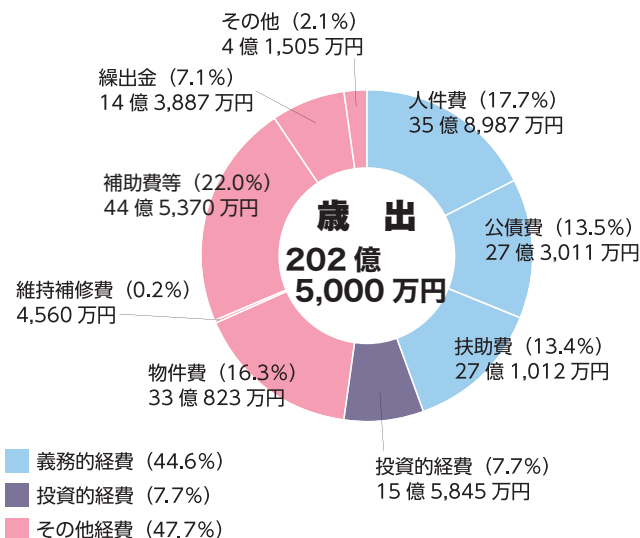
（旧朝来梁瀬医療センター跡地整備）

1億2,800万円

旧朝来梁瀬医療センター跡地について、建物の解体など事業費を負担するとともに、解体後の跡地利活用の検討を進めます。



令和4年度予算の概要



▶歳出

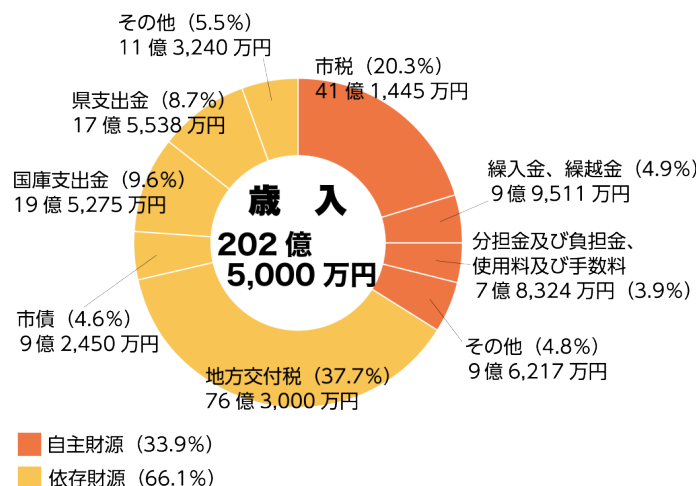
補助費等は南但広域行政事務組合負担金の増などにより前年度比8.5%の増、公債費は繰上償還の実施や市債発行の抑制などにより前年度比9.4%の減、普通建設事業費は令和3年度は骨格予算を編成したため前年度比394.0%の大幅な増となりました。

▶会計別内訳

一般会計	202億5,000万円
特別会計など	110億9,208万円
国民健康保険	34億600万円
宅地開発事業	1,360万円
休日診療所	1,500万円
介護保険	39億4,300万円
後期高齢者医療	5億円
財産区	1,260万円
(企) 水道事業	12億1,806万円
(企) 工業用水道事業	2,000万円
(企) 下水道事業	19億6,382万円
合計	313億4,208万円

用語の説明

公債費…市が借り入れたお金の元利償還金
扶助費…高齢者、児童、心身障害者などに対して行っているさまざまな支援に要する経費
物件費…燃料費、光熱水費、備品購入費など
補助費等…報償費、助成金や一部事務組合負担金など
繰出金…国民健康保険や介護保険など、一般会計から特別会計へ支出される経費



▶歳入

市税は固定資産税の減収見込みなどにより前年度比1.8%の減、地方交付税は地方財政計画および近年の交付実績などを考慮し前年度比6.6%の増、市債は前年度比16.4%の増をそれぞれ見込んでいます。

▶基金の状況

財政調整基金	32億1,153万円
減債基金	955万円
その他特定目的基金	62億2,763万円
合計	94億4,871万円
市民1人当たり	324,542円

▶市債現在高

令和3年度末残高見込額	188億2,927万円
令和4年度市債発行予定額	9億2,450万円
令和4年度元金償還見込額	26億4,427万円
令和4年度末残高見込額	171億950万円
市民1人当たり	587,673円

市民一人当たり支出 695,542円



福祉の充実	181,903円	教育文化スポーツ	52,977円
借金返済	93,773円	農林業の振興	42,902円
行政の運営	116,604円	消防	25,621円
道路・都市計画	73,251円	商工観光の振興	23,506円
医療・ごみ処理	83,630円	その他	1,375円

※一般会計
 ※市民一人当たりは、1月末現在の人口29,114人で算出しています。

組織の再編を実施

市では、新年度に向け、さらなる市民の利便性の向上や行政事務の効率化をめざし、部、課の新設や名称変更などの組織再編を行いました。

1 部の再編

▼「上下水道部」の新設

公営企業の事務部局に属する上下水道課の業務を独立させ、新たに「上下水道部」を新設します。

▼公室、室の名称廃止

- ① 「市長公室」を「企画総務部」に
- ② 「危機管理室」を「危機管理部」に

2 課の再編

▼「デジタル戦略課」の新設

市民の利便性向上や行政事務の効率化、また、国が進めるデジタル田園都市の実現に向け、市のデジタル化施策を戦略的かつ重点的に取り組むため、「デジタル戦略課」を新設します。

▼課内室の設置

- ① 「あさご暮らし応援室」の新設
(市民協働課)
- ② 「環境推進室」の新設
(市民課)

▼「農業委員会」と「農林振興課」との連携

農地農業業務と農業振興との緊密な関係性を鑑み、効率的・効果的な事業運営を図るため、「農業委員会事務局」と「農林振興課」の連携を強化します。

▼課の名称変更

- ① 「地域医療・健康課」を「健康づくり推進課」に
- ② 「都市開発課」を「都市政策課」に

3 事務事業の移管

① 交通安全事業

市民の安心安全な暮らしの確保に向けて、防犯事業と一体的な取り組みを推進するため、総合政策課から防災安全課に移管します。

② 多文化共生事業

「あらゆる人々が活躍する社会・ジェンダー平等の実現」をめざして取り組みを推進するため、秘書広報課から人権推進課に移管し、同課に多文化共生推進担当職員を配置します。

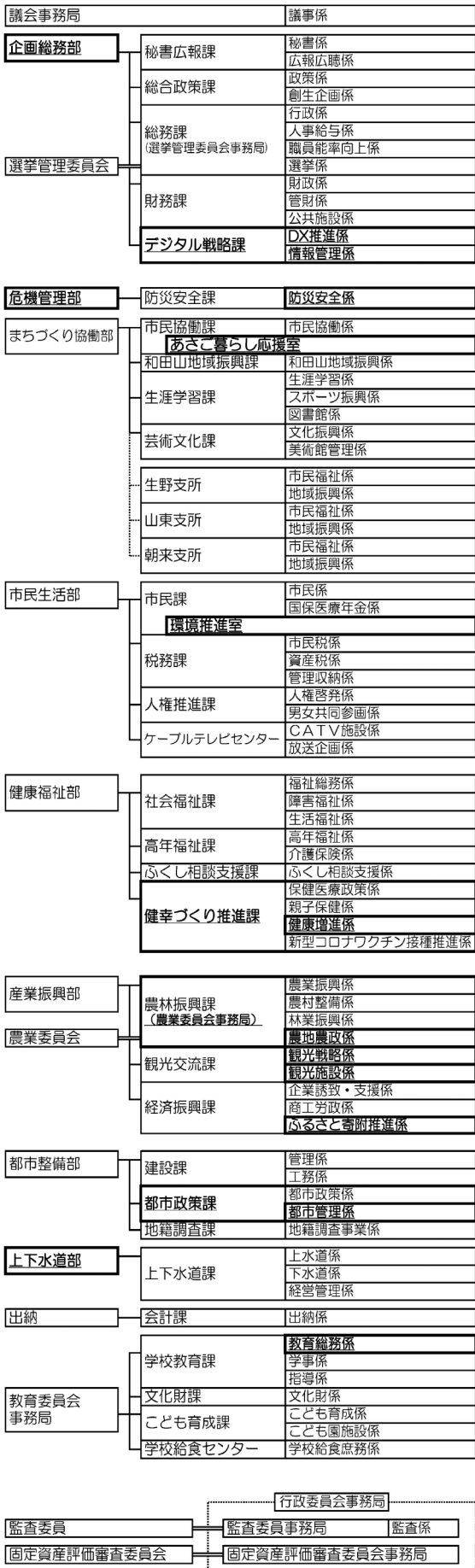
③ ふるさと寄附推進事業

寄附金増、返礼品の充実による地域産業の活性化や地域経済の振興を図るため、秘書広報課から経済振興課に移管します。

▶ 問い合わせ先

総務課
(人事給与係)
672-6115

令和4年度朝来市行政組織・機構図



市職員の人事異動

市は、新型コロナウイルス感染症対策など、市民の安全安心を守るための取り組みを継続しつつ、「デジタル社会の推進」、「脱炭素の取り組み」、「幸せが循環するまちづくり」などについて着実に推進するため、4月1日付で人事異動を行いました。異動総数は177人。(令和3年度は135人。)

企画総務部

- ▼企画総務部長
- 北垣 敏彦(市長公室長)
- ▼秘書広報課
- ▼課長補佐兼秘書係長
- 藤原 栄治(産業振興部経済振興課長補佐兼商工労政係長)
- ▼課長補佐兼広報広聴係長
- 安達 一博(教育委員会事務局学校給食センター所長補佐)

【総合政策課】

- ▼副課長(交通政策推進担当)
- 足立 智義(南但広域行政事務組合派遣)
- ▼主査
- 足立 鉄宏(秘書広報課主任)
- ▼主事
- 岡坂 拓実(新規採用)

【総務課】

- ▼課長補佐兼選挙係長
- 兼デジタル戦略課長補佐(DX推進担当)
- 岩木 幸司(課長補佐)
- ▼課長補佐兼人事給与係長兼職員能率向上係長
- 藤本 良平(市民生活部税務課長補佐兼市民税係長)
- ▼課長補佐
- 上田 千秋(教育委員会事務局こども育成課東河こども園園長)
- ▼主任
- 上垣 佑輔(主事)
- ▼主事
- 児島 敬康(都市整備部都市開発課主事)
- ▼選挙管理委員会事務局書記兼総務課主事
- 都倉 和也(総務省自治行政局派遣)

【財務課】

- ▼主査
- 高本 恵三(総合政策課主査)
- ▼主事
- 吉田 健人(兵庫県市町振興課派遣)
- ▼デジタル戦略課
- ▼課長兼情報管理係長
- 世木 敬史(まちづくり協働部市民協働課長兼和田山地域振興課長)
- ▼課長補佐兼DX推進係長
- 中屋 昌章(但馬広域行政事務組合派遣)
- ▼主事
- 稲田 将太郎(総合政策課主事)
- 福富 範嗣(再任用・財務課主事)

危機管理部

- ▼危機管理部長
- 掃部 直樹(都市整備部長)
- ▼防災安全課
- ▼防災安全係長
- 羽瀧 慎也(産業振興部観光交流課観光交流係長)
- ▼主事
- 川口 浩樹(都市整備部都市開発課主事)

まちづくり協働部

- ▼まちづくり協働部長
- 澤田 学(市長公室次長)
- ▼次長兼芸術文化課長
- 森脇 ますみ(監査委員事務局局長兼監査係長兼固定資産評価審査委員会書記)
- ▼市民協働課
- ▼課長兼和田山地域振興課長
- 神谷 芳彦(和田山地域振興課副課長兼和田山地域振興係長)

◆問い合わせ先
総務課
(人事給与係)
672-6115

副課長兼あさご暮らし応援室長

- 山内 睦(市長公室総合政策課長補佐兼あさご暮らし応援係長)
- ▼市民協働係長
- 高階 進吾(市長公室総合政策課上席主査)
- ▼あさご暮らし応援室主任
- 足立 良太(危機管理室防災安全課主任)
- ▼和田山地域振興課
- ▼副課長兼和田山地域振興係長
- 西谷 由華子(産業振興部農林振興課副課長)
- ▼主査
- 井上 信彦(市民生活部ケーブルテレビセンター主査)
- ▼主事兼市民協働課あさご暮らし応援室主事
- 居相 幸伸(主事)

【生涯学習課】

- ▼生涯学習係長
- 福島 克史(市民生活部人権推進課人権啓発係長)
- ▼主事
- 佐藤 晃一(南但広域行政事務組合派遣)
- ▼主任事務員
- 長濱 憲子(市長公室総務課主任事務員)
- ▼指導員兼芸術文化課指導員兼文化会館長
- 金山 克則(再任用)
- ▼芸術文化課
- ▼指導員兼あさご芸術の森美術館長
- 赤曾部 美鶴(再任用)

生野支所

- ▼生野支所長兼生野書院副館長
- 一ノ瀬 智至(産業振興部次長兼経済振興課長)
- ▼課長兼まちづくり協働部生涯学習課生野生涯学習センター長
- 竹村 万美子(市民生活部市民課長)

山東支所

- ▼山東支所長
- 白髭 徹(教育委員会事務局学校給食センター所長)
- ▼課長兼まちづくり協働部生涯学習課山東生涯学習センター長
- 小山 幸世(課長)
- ▼市民福祉係長
- 安田 雅子(まちづくり協働部市民協働課市民協働係長)

朝来支所

- ▼課長兼まちづくり協働部生涯学習課朝来生涯学習センター長
- 松島 豊(課長)
- ▼課長補佐
- 則定 澄美(産業振興部観光交流課長補佐兼観光創生係長)
- ▼主事
- 池埜 麻彩(健康福祉部高年福祉課主事)

市民生活部

- ▼市民生活部長
- 岡林 克彦(山東支所長)
- ▼課長兼環境推進室長
- 佐野 成久(市長公室財務課副課長兼情報推進係長)
- ▼副課長兼環境推進室副室長
- 兼クリーンセンター山東事業所長
- 足立 篤司(副課長)
- ▼課長補佐
- 片岡 陽子(教育委員会事務局こども育成課長補佐兼こども育成係長)

健康福祉部

- ▼課長補佐兼環境推進室長補佐
- ◎波多野 哲哉（兵庫県立大学大学院派遣）
- ▼市民係長
- ◎土江 彩（上席主査）
- ▼環境推進室係長
- ◎中屋 晃子（生活環境係長）
- ▼主任
- ◎山中 夏穂（健康福祉部社会福祉課主任）
- ◎中村 まみ（教育委員会事務局学校教育課主任）
- ▼主事
- ◎水田 りお（新規採用）
- ▼技能員（南但広域行政事務組合派遣）
- ◎大西 亮祐（新規採用）

【税務課】

- ▼課長
- ◎足立 哲哉（副課長）
- ▼課長補佐兼資産税係長
- ◎田中 寿（健康福祉部地域医療・健康課長補佐）
- ▼課長補佐兼市民税係長
- ◎足立 正（選挙管理委員会事務局局長補佐兼市長公室総務課選挙係長）
- ▼主事
- ◎西山 暁子（健康福祉部高年福祉課主事）
- ◎高本 千穂（教育委員会事務局こども育成課主事）
- ◎水野 華音（市民課主事）
- ◎松本 典弥（新規採用）

【人権推進課】

- ▼課長（多文化共生推進担当）
- ◎荒川 龍彦（課長）
- ▼課長補佐兼人権啓発係長
- ◎吉田 裕之（南但広域行政事務組合派遣）
- ▼課長補佐兼男女共同参画係長（多文化共生推進担当）
- ◎中島 加奈子（課長補佐兼男女共同参画係長）
- ▼上席主査
- ◎橋本 大地（朝来支所上席主査）
- ▼枚田岡会館館長
- ◎山本 勝郎（再任用・産業振興部農林振興課夜久野高原開発・ため池対策指導員）

【ケーブルテレビセンター】

- ▼所長兼放送企画係長
- ◎中川 忠則（副所長兼CATV施設係長）
- ▼所長補佐兼CATV施設係長
- ◎白瀧 英一（兵庫県農業共済組合派遣）

【社会福祉課】

- ▼副課長兼健康づくり推進課副課長（新型コロナワクチン接種推進担当）
- ◎下村 忠幸（都市整備部地籍調査課副課長）
- ▼福祉総務係長
- ◎衣川 三香子（上席主査）
- ▼障害福祉係長
- ◎尾花 優一（上席主査）
- ▼主査
- ◎西村 良太（主任）
- ▼主任
- ◎楠 佑介（市長公室総合政策課主任）

【高年福祉課】

- ▼課長
- ◎大石 哲也（市民生活部税務課長）
- ▼課長補佐兼介護保険係長
- ◎小山 修平（まちづくり協働部生涯学習課長補佐兼生涯学習係長）
- ▼主任
- ◎小野山 彰（市民生活部市民課主任）

【ふくし相談支援課】

- ▼主事
 - ◎田路 遥（地域医療・健康課主事）
- ### 【健康づくり推進課】
- ▼課長
 - ◎藤井 美景（地域医療・健康課長）
 - ▼課付課長（新型コロナワクチン接種推進担当）
 - ◎坂本 和昭（市民生活部人権推進課副課長兼副課長（新型コロナワクチン接種推進担当））
 - ▼副課長（新型コロナワクチン接種推進担当）
 - ◎北島 周（社会福祉課長補佐兼障害福祉係長兼課長補佐（新型コロナワクチン接種推進担当））
 - ▼課長補佐兼新型コロナワクチン接種推進係長
 - ◎石田 志帆（課長補佐兼健康づくり推進係長）
 - ▼主査
 - ◎福富 麻起子（ふくし相談支援課主査）
 - ▼主事
 - ◎維田 まるみ（教育委員会事務局こども育成課主事）
 - ◎板高 由莉江（新規採用）
 - ▼専門員（栄養指導業務担当）
 - ◎池口 佐登美（再任用）
 - ▼指導員（健康づくり推進・新型コロナワクチン

- チン 接種推進担当）
- ◎梶 孝江（再任用）

産業振興部

【農林振興課】

- ▼副課長兼農業委員会事務局副局長
- ◎小笠原 徹（課長補佐兼農業振興係長兼農業委員会事務局局長補佐）
- ▼副課長
- ◎野田 勝文（課長補佐兼林業振興係長）
- ▼課長補佐兼農業振興係長
- ◎岸下 寛志（健康福祉部地域医療・健康課新型コロナワクチン接種推進係長）
- ▼林業振興係長
- ◎足立 徹（上席主査）
- ▼農業委員会事務局係長兼農地農政係長
- ◎森本 礼子（市民生活部税務課上席主査）
- ▼主事
- ◎福富 裕貴（まちづくり協働部生涯学習課主事）
- ◎杉浦 康将（観光交流課主事）

【観光交流課】

- ▼課長
- ◎足立 高光（健康福祉部高年福祉課長）
- ▼副課長
- ◎柏村 寿夫（都市整備部上下水道課副課長兼経営管理係長）
- ▼課長補佐兼観光施設係長
- ◎坂本 紀昭（課長補佐兼竹田城係長）
- ▼観光戦略係長
- ◎梶本 陽介（芸術文化観光専門職大学派遣）

【経済振興課】

- ▼課長
- ◎佐野 正彦（観光交流課長）
- ▼課長補佐兼商工労政係長兼ふるさと寄附推進係長
- ◎藤本 晋也（市長公室総務課長補佐兼人事給与係長）
- ▼主事
- ◎大槻 学（市長公室秘書広報課主事）

都市整備部

- ▼都市整備部長
- ◎桐山 俊行（教育委員会事務局次長兼文化財課長兼文化財係長兼埋蔵文化財センター所長）

【建設課】

- ▼副課長兼管理係長
- ◎小西 秀隆（課長補佐兼管理係長）
- ▼係長（工務担当）
- ◎椿野 禎俊（上席主査）
- ▼主査
- ◎椿野 裕記（兵庫県但馬県民局養父土木事務所派遣）
- ▼主事
- ◎田中 諒（地籍調査課主事）

【都市政策課】

- ▼課長
- ◎清水 昭洋（兵庫県からの人事交流）
- ▼課長補佐兼都市管理係長
- ◎村上 陽昭（課長補佐兼市街地形成係長）
- ▼都市政策係長
- ◎井上 雅徳（上席主査）
- ▼主任
- ◎足立 正彦（生野支所主任）
- ▼主事
- ◎西谷 和徳（産業振興部農林振興課主事）

【地籍調査課】

- ▼課長
- ◎日原 賢一（副課長）
- ▼副課長
- ◎高橋 英明（上下水道課副課長兼クリーンセンター和田山事業所長）
- ▼課長補佐
- ◎森本 伸也（生野支所課長補佐兼市民福祉係長）
- ▼地籍調査事業係長
- ◎安積 一典（建設課上席主査）

上下水道部

- ▼上下水道部長
- ◎小田垣 貢（危機管理監）
- ▼課長兼経営管理係長
- ◎小谷 康人（都市整備部上下水道課長）
- ▼主任
- ◎岡田 卓也（市長公室財務課主任）
- ◎丸山 貴史（主事）
- ▼主任技能員
- ◎東阪 智伸（南但広域行政事務組合派遣）

- ▼クリーンセンター和田山事業所技能員
- 西村 友裕(都市整備部上下水道課技能員)
- ▼指導員
- 中井 勝司(再任用)
- ▼クリーンセンター和田山事業所長
- 中島 浩之(再任用)

出納

- ▼会計管理者
- 田中 勉(兵庫県農業共済組合派遣)
- 【会計課】
- ▼副課長兼出納係長
- 小谷 英美子(議事事務局長補佐兼議事係長)
- ▼指導員
- 藤原 直樹(再任用)

議事事務局

- ▼議事係長
- 竹村 真一(市民生活部税務課上席主査)

行政委員会事務局

- ▼監査委員事務局長兼監査係長兼固定資産評価審査委員会書記
- 清水 光(会計管理者)
- ▼指導員兼固定資産評価審査委員会書記
- 松岡 貞之(再任用)

教育委員会事務局

- ▼教育部長兼埋蔵文化財センター所長
- 宮崎 隆史(生野支所長)
- 【学校教育課】
- ▼課長補佐兼教育総務係長
- 南光 政之(市民生活部税務課長補佐兼資産税係長)
- ▼主事
- 高瀬 一弥(新規採用)

【学校給食センター】

- ▼所長
- 今井 謙一(市民生活部市民課付課長兼グリーンセンター山東事業所長)

- ▼主査
- 森本 葉子(山東支所主査)
- ▼主任調理員
- 田村 真紀(調理員)

【文化財課】

- ▼課長兼埋蔵文化財センター副所長
- 中島 雄二(生野支所課長兼生野書院副館長)
- ▼文化財係長
- 小原 嘉文(上席主査)

【こども育成課】

- ▼参事兼竹田こども園長
- 岸本 弥生(竹田こども園長)
- ▼副課長兼こども園施設係長
- 荒川 吉郎(課長補佐兼こども園施設係長)
- ▼課長補佐兼こども育成係長
- 上垣 麻衣子(市民生活部市民課長補佐兼市民係長)
- ▼主事
- 久保田 美優(健康福祉部地域医療・健康課主事)

《生野こども園》

- ▼保育教諭
- 高瀬 麻美(竹田こども園保育教諭)
- 高井 英至(新規採用)

《糸井こども園》

- ▼主任保育教諭
- 白瀧 亜弓(山口こども園主任保育教諭)
- ▼保育教諭
- 井口 達博(山口こども園保育教諭)
- 安積 実来(東河こども園保育教諭)

《大蔵こども園》

- ▼主任保育教諭
- 小野山 文佳(糸井こども園主任保育教諭)
- ▼保育教諭
- 田中 有純(糸井こども園保育教諭)
- 石田 春香(糸井こども園保育教諭)

《東河こども園》

- ▼主任保育教諭(主査級)
- 川淵 鮎美(主任保育教諭(主任級))
- ▼保育教諭
- 正垣 ほのか(中川こども園保育教諭)

《竹田こども園》

- ▼副園長
- 谷口 由美(山口こども園副園長)
- ▼保育教諭
- 清水 恵里(生野こども園保育教諭)

- 足立 結愛(大蔵こども園保育教諭)
- 掃部 綾(生野こども園保育教諭)

《中川こども園》

- ▼保育教諭
- 梶本 理絵(山口こども園保育教諭)
- 桑原 美奈絵(東河こども園保育教諭)
- 西谷 優花(新規採用)

《山口こども園》

- ▼副園長
- 野田 幸代(竹田こども園副園長)
- ▼主任保育教諭
- 長谷川 紗弥佳(糸井こども園保育教諭)
- ▼保育教諭
- 藤原 優花(大蔵こども園保育教諭)
- 米澤 理彩(新規採用)

派遣

《課長級》

- ▼兵庫県農業共済組合派遣
- 田路 義明(都市整備部地積調査課長)
- ▼副課長級
- 南但広域行政事務組合派遣
- 足立 尚幸(農業委員会事務局副局長兼農地農政係長)
- 住吉 由喜(まちづくり協働部芸術文化課副課長)

《主任級》

- ▼兵庫県但馬県民局養父土木事務所派遣
- 衣川 翔太(主任)
- ▼南但広域行政事務組合派遣
- 藤原 泰輔(宮城県巨理郡山元町派遣)
- 北村 明結(まちづくり協働部生涯学習課主事)
- 総務省自治税務局派遣
- 大平 晋也(市民生活部税務課主事)
- 宮田 夏喜(生野支所主事)
- 但馬広域行政事務組合派遣
- 山脇 あおい(市民生活部市民課主事)
- 兵庫県立大学大学院派遣
- 桑島 悠地(産業振興部農林振興課主事)
- 兵庫県後期高齢者医療広域連合派遣
- 松本 初(市民生活部市民課主事)
- 兵庫県但馬県民局養父土木事務所派遣
- 足立 達夫(再任用・朝来支所地域振興指導員)

退職

- 金山 克則(まちづくり協働部長)
- 藤原 直樹(教育委員会事務局教育部長)
- 赤首部 美鶴(芸術文化担当部長兼芸術文化課長兼あさご芸術の森美術館長)

- 松岡 貞之(市民生活部長)

- 梶 孝江(地域医療・健康づくり担当部長)

- 中井 勝司(公営企業担当部長)

- 池口 佐登美(地域医療・健康課健康づくり推進担当課長)

- 足立 絵美(会計課出納係長)

- 林 亜里紗(健康福祉部地域医療健康課主査)

- 岡本 星花(朝来支所主事)

- 奥田 奈美(教育委員会事務局こども育成課竹田こども園保育教諭)

- 上田 彩水(教育委員会事務局こども育成課生野こども園保育教諭)

- 吉田 伸吾(再任用・市長公室財務課公有財産管理・情報推進指導員兼健康福祉部地域医療・健康課新型コロナワクチン接種推進指導員)

- 足立 志津子(再任用・まちづくり協働部生涯学習課長補佐)

- 田路 ちえみ(再任用・教育委員会事務局学校給食センター調理員)

《人事交流期間の満了》

- 井口 幸彦(都市整備部都市開発課長)
- 兵庫県へ復帰

募集 経営者講座 「あさご未来経営塾」

あさご元気産業創生センターは、コロナ後とデジタル時代を見据え経営革新を志す経営者向けセミナーを令和4年5月に開講します。

受講を希望する人は下記まで申し込みください。

▶期間

令和4年5月から令和5年3月までの全11回

▶場所

和田山生涯学習センター

▶費用 無料

※教材費として別途3,000円が必要です。教材の内容は改めて受講者に連絡します。

▶対象者

市内事業者、後継者、起業家

▶定員

10人程度

▶講義内容

○中小企業診断士による経営戦略・マーケティング・組織論などの経営学基礎講座 60分

○経営計画書作成・WEB利活用 30分

▶問い合わせ先

あさご元気産業創生センター
(経済振興課内)

☎ 672-2816

メール: keizai@city.asago.lg.jp

募集 竹田城跡で働いてみませんか？

市は、竹田城跡料金収受棟で働く職員を募集します。

朝来市の宝、竹田城跡と一緒に働いてみませんか。

▶募集内容

観覧料の徴収、観光客の皆さまへのおもてなし

▶勤務場所

竹田城跡料金収受棟

▶勤務時間

3時30分～18時30分までのうち5時間以上

※竹田城跡の観覧時間により変動

▶勤務日

週20時間以内、2～3人のシフト制によるローテーション

▶時給

1,002円～1,253円(早朝割増あり)

▶雇用期間

採用日から翌年3月31日(継続あり)

▶問い合わせ先

ハローワーク和田山 ☎ 672-2116

観光交流課 ☎ 672-4003



▶交通事故(2月)

人身事故	23件
死者	0人
負傷者	27人

▶救急・火災件数(2月)

救急・救助	119件
火災	0件

マイナンバーカード 休日・時間外窓口(予約制)

カードの交付・更新・申請受付を行います。開庁時間にお越しになれない人は、ぜひご利用ください。

※開設日の3日前までに予約をお願いします。

▶日時

4月10日(日)、5月8日
8時30分～12時
毎週金曜日(※4月29日を除く)
17時30分～19時

▶場所・問い合わせ先

市役所本庁舎1階
市民課 ☎ 672-6120

今月の税金など

税金や保険料の納付は
便利な口座振替で

介護保険料

第1期

▶主な問い合わせ先

市役所本庁舎	☎ 672-3301
生野庁舎	☎ 679-2240
山東庁舎	☎ 676-2080
朝来庁舎	☎ 677-1165

暮らしの

情報コーナー

環境

プラスチックは えらんで減らしてリサイクル

気候変動、海洋ごみ、資源の枯渇の解決に向け、プラスチック資源循環のための新しい法律が4月から始まります。

私たちの暮らしの変化として、これまでお店でもらっていた使い捨てプラスチック(フォーク・スプーン・テーブルナイフ・マドラー・ストロー・ヘアブラシ・くし・かみそり・シャワーキャップ・歯ブラシ・衣類用ハンガー・衣類用カバー)の提供が有償になるほか、必要か意思確認をされたり、プラスチック製から木製や紙製に素材が切り替わります。また、国が認定した環境に配慮されている製品を私たちが

選んで購入できるようになります。ひとりひとりの小さな取り組みの積み重ねが重要です。

▶えらんで

環境にやさしいプラスチック製品を選ぶこと

▶減らして

プラスチックを過剰に使用しないように心掛け、プラスチックごみを減らすこと

▶リサイクル

プラスチック製品の分別・回収・リサイクルに協力すること

◆問い合わせ先 市民課 ☎ 672-6120



募集 第1回大人の自然学校 参加者募集

県立南但馬自然学校は、次のとおり令和4年度第1回『大人の自然学校』参加者を募集します。

▶日時

5月7日(土)、9時30分～12時

▶場所

県立南但馬自然学校

▶テーマ

『春の植物を観察しよう』

▶内容

施設内を散策しながらキンラン、ギンラン、ミヤマカタバミなど春の里山の植物を観察する。

▶講師

県立南但馬自然学校学長 服部 保氏

▶対象者

自然体験活動に関心のある県内在住の人

▶定員

20人程度
※募集期間初日に定員を超えた場合は抽選

▶募集期間

4月28日(木)まで

▶携行品等

筆記用具、作業用手袋(軍手)、雨具(カッパ)、水筒、健康保険証、野外活動に適した服装(長袖、長ズボン)、運動靴(長靴)、帽子、マスク

▶参加費

1人100円(保険料)
※受付時に徴収します。

▶申し込み方法

申込書に必要事項を記入の上、下記まで原則としてファックスまたはメールで申し込みください。

▶問い合わせ先

県立南但馬自然学校
☎676-4731
FAX676-4008
Mtajimashizen@pref.hyogo.lg.jp

募集 初心者狩猟講習会 のご案内

一般社団法人兵庫県猟友会が、狩猟免許試験を受験される皆さんを対象とした知識・技能に関する講習会を実施する予定です。

日時、場所については、5月上旬に兵庫県猟友会のホームページでお知らせされますので、ご確認ください。

▶問い合わせ先

(一社)兵庫県猟友会
☎078(361)8127
<http://hyogo-ryoyukai.sakura.ne.jp/>



募集 道路などの清掃美化活動 を行う人を募集

アダプト制度を活用し、ボランティアで身近な道路など公共空間の清掃美化活動をし、美しい朝来市づくりに参加しませんか。

◎アダプト制度

アダプトとは、養子にするという意味の英語です。地域住民や地元の企業の皆さんが自分たちの身近な公園や道路、河川などの公共空間「里親」となり、自発的に清掃美化活動を行う制度です。

▶対象者

市内で活動する個人、団体、企業

▶活動内容

管理区域の美化活動
(ごみ拾い、除草など)

※ボランティア保険は市で加入します。

▶問い合わせ先

市民課 ☎672-6120

募集 令和4年度 狩猟免許試験

県は、今年度も狩猟免許試験を実施します。

▶狩猟免許とは

狩猟期間中にシカやイノシシなどの狩猟鳥獣を捕獲するのに必要な資格
また、県や市町の許可を受けて実施する有害鳥獣捕獲にも原則としてこの免許が必要

▶狩猟の楽しみと公益性

狩猟は、ハンティングや料理を楽しむという魅力のほか、農林業被害を与える野生動物の生息頭数を適正に管理するという公益性も兼ね備えています。

▶免許の種類

網猟(主に鳥類)、わな猟(獣類のみ)、第一種銃猟(装薬銃、空気銃)、第二種銃猟(空気銃)

▶試験の日程と場所

◀1回目▶

▶申込期間

5月23日(月)～6月10日(金)

▶知識・適性・技能試験日および場所

7月2日(土)洲本市※わな猟試験のみ
7月9日(土)神戸市
7月15日(金)姫路市
7月23日(土)養父市
7月30日(土)姫路市

◀2回目▶

▶申込期間

7月19日(火)～8月12日(金)

▶知識・適性・技能試験日および場所

8月29日(月)神戸市
9月3日(土)神戸市
9月16日(金)神戸市
11月26日(土)姫路市※わな猟試験のみ

▶問い合わせ先

兵庫県農政環境部鳥獣対策課
☎078(362)3463

お知らせ 後期高齢者医療制度
令和4・5年度の保険料率が決定しました

後期高齢者医療制度の保険料を決める基準である保険料率（均等割額と所得割率）は2年ごとに見直します。

▶兵庫県後期高齢者医療広域連合の保険料率

	均等割額	所得割額	割賦限度額
令和4・5年度	50,147円	10.28%	66万円
令和2・3年度	51,371円	10.49%	64万円

▶兵庫県の令和4年度保険料の計算方法

年間の保険料は被保険者一人ひとりが等しく負担する「均等割額」と前年の所得に応じて負担する「所得割額」を合計します。

均等割額	+	所得割額	=	保険料額(年額)
50,147円		(総所得金額等(注) - 43万円) × 所得割率 10.28%		(上限 66万円)

(注) 総所得金額等とは収入額から次の控除額を引いた金額です。(公的年金等控除額、給与所得控除額、必要経費。ただし、所得控除額(社会保険料控除額、扶養控除額等)は含みません。)

▶保険料額の通知について

個人ごとの保険料額は7月中旬ごろに送付する保険料額決定通知書でお知らせします。

▶所得の低い人の軽減(令和4年度)

世帯(世帯主と世帯内の被保険者)の令和3年中の総所得金額などが一定の金額以下の人は、均等割額が軽減されます。

総所得金額等(被保険者+世帯主)が次の基準額以下の世帯	軽減割合(軽減後均等割額:年額)
基礎控除額(43万円) + 10万円 ×(年金・給与所得者数 - 1)	7割(15,044円)
基礎控除額(43万円) + 28.5万円 ×被保険者数 + 10万円 ×(年金・給与所得者数 - 1)	5割(25,073円)
基礎控除額(43万円) + 52万円 ×被保険者数 + 10万円 ×(年金・給与所得者数 - 1)	2割(40,117円)

※65歳以上の公的年金受給者は、総所得金額等から年金所得の範囲内で最大15万円を控除し、軽減判定します。

▶被扶養者であった人の軽減

制度に加入する前日に、会社の健康保険などの被用者保険の被扶養者であった人は、所得割額がかからず、後期高齢者医療制度の被保険者となってから2年間は均等割額が5割軽減され、年額25,073円となります。

なお、国民健康保険・国民健康保険組合に加入されていた人は対象となりません。※被扶養者であった人でも、世帯の所得が低い人の軽減を受けることができます。ただし、両方受けることができる場合は、軽減割合の高い方が適用されます。

▶問い合わせ先 市民課 ☎672-6120

兵庫県後期高齢者医療広域連合事務局(コールセンター) ☎078(326)2021

お知らせ 皆さまのご厚意を
被災地に届けました

—「令和3年8月豪雨災害義援金」
のお礼と報告—

令和3年8月豪雨災害により被災された皆さまに、多くの皆さまから心温まる義援金をお寄せいただきました。令和3年9月13日から令和4年2月28日までにお寄せいただいた義援金は以下のとおりです。

▶令和3年8月豪雨災害義援金

総額 188,966円
 佐賀県武雄市 62,354円
 佐賀県嬉野市 62,250円
 佐賀県大町町 64,362円

※お寄せいただいた義援金は各市町の義援金口座に送金いたしました。多くの皆さまからのご協力に心から感謝申し上げます。

▶問い合わせ先

会計課
☎672-6128

お知らせ クリーンセンター山東
持ち込み時間の変更

令和4年4月1日からごみの持ち込みできる時間に変更になります。

▶持ち込みできる時間

変更前 8時~16時30分
変更後 8時30分~16時30分

※持ち込みできるのは平日のみ

▶問い合わせ先

クリーンセンター山東事業所
☎676-3923



**お知らせ** 4月は『若年層の性暴力被害予防月間』

近年、AV出演強要、JKビジネス、SNS利用に起因する性被害など、10代・20代が性的な被害に遭う問題が多く発生しており、特に4月は、進学・就職などに伴い若年層の生活環境が大きく変わり、被害に遭うリスクが高まる時期です。

また、4月から成年年齢が18歳に引き下げられます。一人でも有効な契約ができるため、未成年者取消権が行使できなくなります。

あなたや大切な人が被害にあわないために、被害にあったときに一人で悩まないように、どうすればよいのかを知っておきましょう。詳しくは内閣府のホームページをご覧ください。

▶問い合わせ先

人権推進課 ☎ 672-6122



内閣府ホームページのQR

お知らせ みなみ但馬のまちづくり計画シンポジウム

（一般）南但青年会議所は、みなみ但馬の養父市、朝来市の総合計画について地域の皆さんに広く知っていただき、地域活性化を押し進めるため、下記のとおりシンポジウムを開催します。当日はYouTubeで生配信されます。

▶事業名

『把握』～みなみ但馬のまちづくり計画シンポジウム～

▶事業内容

広瀬栄養父市長、藤岡勇朝来市長が、シンポジウム形式で地域の課題や取り組みについて考えを回答

▶日時 4月21日(木)、19時～20時30分

▶問い合わせ先

（一社）南但青年会議所
総務委員会委員長 井関 朔也
☎ 672-5738（9時～13時）



YouTubeのQR

お知らせ 狂犬病予防注射を受けさせましょう！

生後91日以上全ての犬は、生涯に一度の登録と年に1回狂犬病予防注射を受けさせることが、狂犬病予防法で犬の飼い主に義務付けられています。

飼い犬の体調のいい日に、できるだけ動物病院で狂犬病予防注射を受けさせてください。

なお、市内を巡回して集合注射を予定していますので、ご利用ください。来場の際は、マスクの着用をお願いします。

▶巡回実施日時

4月21日(木)午前中
4月22日(金)午前中
5月10日(火)午前中
5月11日(水)午前中

※詳しい内容については、隣保回覧や市ホームページをご覧ください。

※既に犬の登録を行っている飼い主には、個別に案内します。

※犬の死亡、飼い主や住所の変更など登録内容に変更がある場合は必ず届け出てください。

※登録手続きをまだ行っていない場合は、問い合わせください。

▶問い合わせ先

市民課 ☎ 672-6120

近隣に迷惑をかけないようマナーを守って飼育しましょう

○放し飼いはやめて、散歩のときもリードをつけましょう。

○フンを持ち帰ることは、飼い主の義務です。きちんと拾ってください。

○犬が迷子になった場合は、兵庫県動物愛護センター但馬支所（☎ 666-8071）、南但馬警察署（☎ 672-0110）に連絡をお願いします。

○動物の遺棄や虐待は犯罪です。責任をもって飼育しましょう。

JUPITER HALL ジュピターホール

☾月曜日

（月曜日が祝日の場合はその翌日）

第24回兵庫県警察**音楽隊ふれあいタウンコンサート**

▶公演日 4月29日（金・祝）

▶開演 13時30分（開場：13時）

▶費用

全席自由、入場料無料

※整理券が必要

▶問い合わせ先

和田山ジュピターホール

☎ 672-1000

朝来市ウインドアンサンブル**第17回定期演奏会**

▶公演日 4月24日(日)

▶開演 14時（開場：13時30分）

▶費用 入場料無料

▶プログラム

「アナと雪の女王」よりハイライト
楓葉の舞 ほか

▶問い合わせ先

朝来市ウインドアンサンブル

☎ 090-3947-0188（団長：的場）

*感染症予防のため、入場者数を定員の半分以上で販売します。

*公演当日はマスクの着用・咳エチケット、手指消毒をお願いします。

*入場時に体温測定をさせていただきます。発熱のある人は入場をお控えください。

*新型コロナウイルス感染拡大状況により公演、会場が延期または中止する場合があります。

お知らせ ウクライナ人道危機
救援金の受付

市は、ウクライナおよび救援活動をする国々を支援するために救援金を受け付けます。

▶**救援金の名称**

ウクライナ人道危機救援金

▶**受付期間**

5月6日(金)まで

※日本赤十字社へは5月31日(火)まで

▶**受付時間**

8時30分から17時まで

※土・日・祝祭日を除く。ただし、市施設は休館日を除く)

▶**受付方法**

◀**募金箱**▶

◎設置場所…朝来市役所本庁舎、各支所、市主要施設

◀**口座振込**▶

◎口座振込を希望される人については、日本赤十字社が開設する口座に直接振込してください。

◀**日本赤十字社**▶

◎金融機関 ゆうちょ銀行

口座番号 00110-2-5606

口座名 日本赤十字社(ホセジエウジヤ)

※窓口での振り込みの場合は、振込手数料は免除されます。

◎金融機関 三井住友銀行

すずらん支店

口座番号 普通預金 2787781

口座名 日本赤十字社(ホセジエウジヤ)

◎金融機関 三菱UFJ銀行

やまびこ支店

口座番号 普通預金 2105784

口座名 日本赤十字社(ホセジエウジヤ)

◎金融機関 みずほ銀行

クヌギ支店

口座番号 普通預金 0623471

口座名 日本赤十字社(ホセジエウジヤ)

※金融機関によっては、振込手数料が別途かかる場合があります。詳しくは、日本赤十字社のホームページをご確認ください。

▶**その他**

この救援金は、税法上の優遇措置(寄付控除)の対象となります。なお、個人住民税に係る寄付控除の対象となりません。

▶**問い合わせ先**

会計課 ☎ 672-6128

お知らせ 朝来市住宅
リフォーム助成事業

市は、経済の活性化と住環境の向上を目的として、市内の施工業者を利用して住宅改修を行う人に、工事に係る経費の一部を補助します。

▶**補助対象者**

次の要件をすべて満たしている人が対象となります。

○朝来市に住民登録を有する人

○補助を受けようとする住宅が、市のその他の住宅改修に係る補助金を受けていないこと

○世帯員全員が、市税および市の使用料などの滞納をしていないこと

※申請受付期間前および決定通知書が届く前に行われた工事は対象になりません。

▶**補助対象住宅**

○自己が所有し、実際に住んでいる市内の住宅

○マンションなどの集合住宅は、個人の専有部分のみが対象

○店舗や事務所などと併用住宅は、住居部分のみが対象

▶**施工対象業者**

○市内に事業所を有する法人

○市内に事業所を有する個人で、住民登録されている事業者

▶**補助金額**

20万円以上(消費税含む)の補助対象工事にかかった経費の10%を補助します。

(上限10万円)

▶**申請受付期間**

令和4年4月15日(金)から

令和5年2月28日(火)まで

▶**申請場所** 経済振興課

▶**問い合わせ先**

経済振興課 ☎ 672-2816

お知らせ 市税と上下水道料金
スマホ決済が可能に

4月よりスマートフォン決済アプリで市税、上下水道料金が納付できるようになりました。

納付書に印刷されているバーコードをスマートフォンのカメラ機能で読み取ることで、自宅ですぐに納付できます(事前に各アプリのダウンロードが必要です)。なお、領収証書は発行されませんのでご注意ください。

▶**対象となる税目**

市県民税(普通徴収)、固定資産税、軽自動車税種別割、国民健康保険税、上下水道料金

▶**利用できるスマートフォン決済アプリ**

PayPay 請求書払い、LINE Pay 請求書支払い、PayB、支払秘書、J-Coin 請求書払い

※納付書1枚の金額が30万円を超えるもの、対象となる税目以外のもの、コンビニ等利用期限が切れたもの、バーコードが読み取れないものは利用できません。

※ただし上下水道料金をLINE Pay 請求書支払いで納付する場合は、納付書1枚の金額が5万円未満の場合のみ利用できます。

▶**問い合わせ先**

税務課 ☎ 672-6119

上下水道お客さまセンター

☎ 676-2081



朝来市内どこでも 乗り放題フリーパス アコバス 朝来市コミュニティバス

「あこか」

さらに2つのお得!!

市内から八尾病院まで 320円 → 160円

市内から神崎病院まで 200円 → 100円

4月1日から翌年3月31日までの間で 10ヶ月以上1年以内 希望月数分が購入できます 1ヶ月

5,000円 500円



公共交通機関がスマホで検索できる！



朝来市のコミバス(アコバス)の時刻や経路は Google マップで検索できます！



簡単！

バス停名がわからなくても出発地と目的地を入力すればルート案内ができます！

確実！

時刻表を調べなくてもバスの時刻が表示されます！

便利！

徒歩+バス+電車など複数の移動手段を組み合わせた検索ができます！



ヒメハナ公園 ウツギの館

☎月曜日 ☎676-4587
(月曜日が祝日の場合はその翌日)

旅のお土産とプチ旅行展

- ▶出展者 天野浩次 (川原町区)
- ▶会期 4月7日(木)~4月24日(日)

園長先生のトゥイーティー展

- ▶出展者 西浩一郎 (田中区)
- ▶会期 4月28日(木)~5月15日(日)

※開館 9時~17時 展示の最終日は15時終了予定



あさご芸術の森美術館

☎水曜日 ☎670-4111

「あさごの小さな

フォトグラファー展 2022」

小学生から高校生までを対象にした写真公募展で、審査を通過した入選以上の作品を展示

- ▶会期 5月8日(日)まで
- ▶会場 1階企画展示室

「~江戸から昭和へ紡ぐ

~日本画の美展」

江戸から昭和に活躍した日本画絵師の作品を展示します。

- ▶会期 5月8日(日)まで
- ▶会場 2階企画展示室

お知らせ あさごフォトコンテスト 2021 審査結果

市が毎年実施している「あさごフォトコンテスト」の入賞作品が決定し、39点が入選。プリントの部では、最優秀賞にあたる市長賞に、白本文枝さん(福知山市)の「霧の黒川ダム」が入選しました。

また、データの部では、最優秀賞に、谷川福康さん(川西市)が選ばれました。

入賞作品について、プリントの部は市内巡回展示中、データの部は市ポータルサイト「あさぶら」で公開中です。

▶入場料 無料

▶巡回展示日程

○旧木村酒造 EN

4月8日(金)~4月19日(火)

○朝来市観光情報センター

4月20日(水)~5月10日(火)

○鉾石の道神子畑交流館神選

5月11日(水)~5月24日(火)

○山城の郷交流館

5月25日(水)~6月6日(火)

※全会場で、データの部入選作品の展示あり

▶問い合わせ先

観光交流課 ☎672-4003



プリントの部朝来市長賞
『霧の黒川ダム』 白本文枝



データの部最優秀賞
『天空の暁』 谷川福康

朝来市LINE公式アカウント

友だち募集中



朝来市では、市の取り組みやイベント等の行政情報のほか、緊急時の迅速な情報提供に活用するため、市公式LINEアカウントを開設し、積極的な情報発信を行います。ぜひ、アカウント登録をお願いします！

- LINEアカウント名: 朝来市
- LINEアカウントID: @asagocity



募集 男女共同参画プラン
検討委員会委員募集

市は、第4次男女共同参画プラン検討委員会の公募委員を募集します。

市は現在、第3次朝来市男女共同参画プラン～ウィズプラン～に基づき、性別にかかわらず、お互いを認め合い、個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現に向けて取り組んでいます。

新たなプランの策定に当たり、広く市民の意見を反映するため、男女共同参画に関心がある人を募集します。

▶ **応募資格**

○市内在住の18歳以上の人

○年間5回の会議の出席が可能な人

▶ **委員報償**

市の規定による額

▶ **応募方法**

市役所本庁舎、各支所設置および市ホームページ掲載の「朝来市男女共同参画プラン検討委員会公募委員申込書」に必要事項をご記入のうえ、人権推進課まで提出してください。

▶ **応募締切**

4月22日(金)

▶ **問い合わせ先**

人権推進課

☎ 672-6122



お知らせ 障害者タクシー
利用料金助成

障害者タクシー利用料金の助成は、障害者の生活圏の拡大と社会参加の促進を目的に、1枚500円の利用券を年間24枚交付し、タクシー料金の負担を軽減するものです。現在今年度分の申請を受け付けています。

▶ **利用方法**

①タクシーを利用する際、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を運転手に提示したうえ、使用した料金分の利用券を渡します。

②端数が出た際は、利用者が端数分を現金で支払います。

▶ **対象者**

①身体障害者手帳の1級または2級の人

②療育手帳のAまたはB1の判定の人

③精神障害者保健福祉手帳の1級または2級の人

▶ **申込方法**

「印鑑」と「障害者手帳（身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳）」を持参し、社会福祉課または各支所で所定の申請書に記入し、申請してください。

▶ **問い合わせ先**

社会福祉課 ☎ 672-6123

お知らせ 手話奉仕員養成講座
『入門課程』

朝来市と養父市は、手話で日常会話を行うのに必要な単語や手話表現技術を習得し、手話奉仕員として活動することを目的とした2年間の手話奉仕員養成講座を開催します。

▶ **日時**

5月11日(水)から12月21日(水)までの毎週水曜日、19時30分～21時 全21回

※但し、講座を実施しない水曜日があります。詳しくは問い合わせください。

▶ **場所**

やぶ市民交流広場

▶ **料金** 無料

(但し、別途テキスト代として3,300円が必要)

※テキスト「手話を学ぼう手話で話そう」をお持ちの人は不要

▶ **対象者**

朝来市または養父市内在住・在勤・在学（高校生以上）の人で、手話に関心のある人や手話の基礎を学習したい人

▶ **定員**

20人

(定員になり次第締め切り)

▶ **申込期限**

5月6日(金)

▶ **問い合わせ先**

社会福祉課 ☎ 672-6123

お悔やみ申し上げます（敬称略）



ふくしの窓口から～つながり便り～

障害者基幹相談支援センターについて

今回は、ふくし相談支援課に置かれている「障害者基幹相談支援センター」についてご紹介します。

高齢で要介護の状態となられたり、障害がありハンデをもたれていても、ご本人の望む暮らしをできる限り尊重し相談に応じるようにしていますが、特に障害者の人は、その障害の種類によって生活の様子はさまざまです。

国は障害者総合支援法を制定し、その中で地域における相談支援の中核的な役割を担う機関として「基幹相談支援センター」を置くことができるとして、朝来市障害者計画の中でも障害者の自立した生活支援の推進や相談支援体制の充実をあげています。

朝来市の「障害者基幹相談支援センター」では下記のような業務を行っています。

項目	内容
総合相談	障害の種類や個々のニーズに応じた相談に総合的に応じます
地域の相談支援体制の強化	市内の相談支援事業所への助言や連携を通して相談体制を強化します
権利擁護・虐待防止	成年後見制度の利用に向けた支援や、障害者の虐待防止に取り組みます。
精神障害者の地域移行等支援	精神障害者が入院治療された場合、できる限り長期化しないよう早期に支援します。

総合相談の中にはさまざまなものがあり、対象の人の年齢やニーズもさまざまです。

実際の相談内容ではありませんが、高齢の親御さんからの相談で、「障害をもつ息子はいくつか仕事をしてきたけれど続かなくなり、何年か自宅に閉じこもっているのが将来が心配だ」、また、「入院中だけれど自宅に帰りたくないし、アパート暮らしは不安でふみきれない、どうしたらよいか」などの相談があります。

基幹相談支援センターでは、地域の障害者の支援を行っている事業所や医療機関、福祉施設などと連携し、本人や家族が望む地域での暮らしを支えるように努めています。また、地域の皆さんに対しても障害を持った人の生活のしにくさを理解いただくことや、どのように地域で支えたらよいかなど一緒に考える機会をもつようにしています。

高齢であっても、障害があっても、できるだけ住み慣れた地域で安心して暮らすことができる、そのような地域づくりをめざしています。

ふくし相談支援課は福祉の相談窓口です。お気軽にご連絡ください。

◆問い合わせ先

ふくし相談支援課 ☎ 672-6125

戸籍の窓

◆掲載対象期間

2月16日
～3月15日届出分

(令和4年2月28日現在)
総人口 29,079人
(-35)

男 13,934人
(-19)

女 15,145人
(-16)

世帯数 12,222世帯
(-4)
()は前月比

お誕生おめでとうございます (敬称略)





健康コーナー

◆問い合わせ先
健幸づくり推進課
☎ 672-5269 (朝来市保健センター)

“血管に優しい食生活”で 脂質異常症予防・改善！

脂質異常症とは、血液に含まれるコレステロールや中性脂肪のバランスが崩れた状態のことをいいます。特に症状はないため、気付かないまま放置してしまい動脈硬化が進行することがあります。血管に優しい食生活を意識し、脂質異常症を予防・改善しましょう。

《食生活のポイント》

▶食物繊維をとる

野菜、海藻類、きのこ類、豆類に多く含まれます。1食に1品はサラダや和え物、スープなどの副菜を取り入れましょう。

▶質の良い脂をとる

背の青い魚に多く含まれます。缶詰（さばの味噌煮やさんまの蒲焼など）を活用すると手軽に取り入れられます。

*質の良い脂でもとりすぎには注意が必要です。

▶アルコールや甘いものは控えめに

アルコールやジュース、砂糖を多く使用したお菓子はとりすぎると中性脂肪を高めます。週に2日は休肝日を設ける、お菓子は1日1回など、ルールを決めてみましょう。



南但休日診療所 《4・5月診療日》

▶診療日

《4月》10日(日)、17日(日)、24日(日)

《5月》1日(日)、8日(日)、15日(日)、22日(日)、29日(日)

▶受付時間

8時30分～11時30分、13時～16時

▶場所

和田山町法興寺 378-1 (朝来市保健センター併設)

▶診療科

内科、小児科

▶持ち物

保険証、医療費受給者証、マイナンバーカード、診療費

▶連絡・問い合わせ先

南但休日診療所 ☎ 672-5269

*受診時には事前に電話で連絡ください。

*感染予防のため、必ずマスクの着用をお願いします。

令和4年度 子宮頸がん検診を実施します

市は、各地区で子宮頸がん検診を次の日程で実施します。申込者には、4月下旬に検診日時の案内や受診票を送付しますので、ご確認ください。

▶対象者

和暦で偶数年生まれの20歳以上の女性
(令和5年3月31日現在の年齢)

▶実施日時

実施月日	受付時間	会場
5月11日(水)	13:30～15:25	朝来市保健センター
5月25日(水)	14:00～15:25	朝来体育館
6月2日(水)	13:30～15:55	山東老人福祉センター
6月8日(水)	13:30～15:25	朝来市保健センター
6月15日(水)	14:00～15:25	朝来体育館
7月14日(水)	13:30～15:25	朝来市保健センター
7月26日(火)	13:30～15:25	朝来市保健センター
8月4日(水)	14:00～15:55	生野メインホール
8月10日(水)	13:30～15:25	朝来市保健センター

*申し込みをしておらず、受診を希望される人は、健幸づくり推進課まで連絡してください。



健康カレンダー

4/16～5/15

月	日	曜日	内容	場所
4月	20	水	ごっくん離乳食教室	朝来市保健センター
	21	木	8カ月児健診	朝来市保健センター
	26	火	ぱくぱく離乳食教室	朝来市保健センター
5月	11	水	子宮頸がん検診	朝来市保健センター
	12	木	1歳6カ月児健診	朝来市保健センター
	13	金	3歳児健診	朝来市保健センター

	相談名	日時	場所	内容	担当課 (電話番号)
一般相談	人権相談	4月14日(木) 13:30～15:00	和山生涯学習センター 山東老人福祉センター 朝来老人福祉保健センター	人権問題に関する相談	人権推進課 ☎ 672-6122
	行政相談	4月18日(月) 10:00～11:30	市役所本庁舎 1階相談室 生野保健センター 山東老人福祉センター 朝来庁舎 1階会議室	官公庁の仕事の苦情や意見・要望または相談	市民課 ☎ 672-6120
	消費生活相談	月～金曜日 9:00～16:30	朝来市消費生活センター (市民課内)	悪質商法・多重債務・架空請求などの相談	朝来市消費生活センター ☎ 672-6121 消費者ホットライン ☎ 188
こころと身体	健康相談	月～金曜日 8:30～17:15	朝来市保健センター	こころや身体の健康に関する相談	健幸づくり推進課 ☎ 672-5269
	若者のこころの相談	4月21日(木) 13:30～16:00	朝来健康福祉事務所	人間関係の悩みやストレス、うつ病や認知症など精神疾患を有する場合などの相談	朝来健康福祉事務所 ☎ 672-0555
	こころのケア相談 (要予約)	4月19日(火) 5月11日(水) 14:00～16:00	朝来市保健センター		健幸づくり推進課 ☎ 672-5269
身体障害者相談	5月2日(月) 13:00～16:00	山東老人福祉センター	身体障害に関する相談	社会福祉協議会山東地域センター ☎ 676-5215	
女性のなやみ相談 (要予約)	4月13日(水) 12:30～15:30	市役所本庁舎 404 会議室	人間関係、夫婦関係、生き方など女性が抱えるさまざまな悩みの相談	人権推進課 ☎ 672-6122	
認知症相談	月～金曜日 8:30～17:15	ふくし相談支援課	認知症に関する相談	ふくし相談支援課 ☎ 672-6125	
生活保護相談	月～金曜日 8:30～17:15	社会福祉課	生活保護に関する相談	社会福祉課 ☎ 672-6123	
生活困窮者の自立相談	月～金曜日 8:30～17:15	社会福祉課	収入減少、住居を失うおそれがあるなど、生活の不安に関する相談	社会福祉課 ☎ 672-6123	
家庭相談 ひとり親	母子・父子相談 (ひとり親家庭の相談)	月～金曜日 8:30～17:15	社会福祉課	生活上の悩みなど、母子・父子家庭の自立に向けた相談	社会福祉課 ☎ 672-6123
	ひとり親家庭等特別相談 (予約制)	4月21日(木) ※4月12日(火) までに要予約	市役所本庁舎 2階相談室	弁護士による無料相談 (オンライン相談 1回 30分)	社会福祉課 ☎ 672-6123
DV相談	月～金曜日 8:30～17:15	社会福祉課	配偶者からの暴力に関する相談	社会福祉課 ☎ 672-6123	
ひきこもり相談	月～金曜日 8:30～17:15	社会福祉課		社会福祉課 ☎ 672-6123	
	水・金 9:00～12:30 【電話相談】 月～金曜日 9:00～16:00	居場所いろは	ひきこもりに関する相談	居場所いろは ☎ 080-4978-4566	
子育て 相談	家庭児童相談室	月～金曜日 8:30～17:15	社会福祉課	子育て、家庭の悩みなど児童に関する相談	社会福祉課 ☎ 672-6123
	子育て世代 包括支援センター	月～金曜日 8:30～17:15	朝来市保健センター	乳幼児の子育て、妊産婦の健康の悩みなど	健幸づくり推進課 ☎ 672-5269
仕事相談	あさご元気産業 創生センター	月～金曜日 8:30～16:30	あさご元気産業創生センター (経済振興課内)	仕事に関すること全般	あさご元気産業創生センター ☎ 672-2816
	ジョブサポあさご	月～金曜日 8:30～16:30	ジョブサポあさご (経済振興課内)	就職に関すること全般	ジョブサポあさご ☎ 672-2816
	若者の就労相談 (要予約)	第2・4水曜日 13:00～17:00 月1回程度随時	山東生涯学習センター (山東庁舎内) 朝来生涯学習センター	若者の就労、自立に向けた相談	労協若者サポート ステーション豊岡 ☎ 0796 (34) 6333
法律相談	司法書士による法律相談 (要予約)	5月7日(土) 13:00～16:00	和山ジュピターホール	司法書士による登記・相続・多重債務などの法律相談	兵庫県司法書士会但馬支部 ☎ 0796 (23) 7817
	総合法律センター 南たじま相談所 (予約制)	4月28日(木) 13:00～15:00	和山老人福祉センター	弁護士による法律相談 (予約制・1回30分・相談料5,500円)	兵庫県弁護士会 ☎ 078 (351) 1233

性暴力に関する SNS 相談「Cure time」(内閣府)
チャットでの相談窓口。専門の相談員と一緒に考えます。



<性的画像を含むインターネット上の問題>

◎女性の人権ホットライン (法務局) 0570-070-810





蔵書検索・イベント
休館日はこちらから



『サンセット・サンライズ』 楢周平(講談社)

晋作の会社では、コロナ禍を機に在宅勤務を推奨。そこで釣りバカの彼は、東京にいくとも仕事は可能と考え、宮城県の海沿いに移住した。田舎に住んで分かった空き家の多さ。晋作は、仕事と釣りの合間にその活用法を考える。

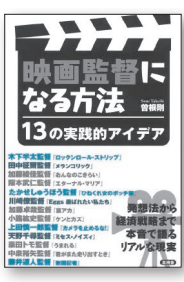


読書時間をいゆるりと



『映画監督になる方法』 曾根剛(文芸春秋)

映画監督になるのに決まったルートはない。なり方は監督の数だけあり、世に知られていないのが実情だ。本書はその道筋を、今注目する13人の言葉で明らかにする。苦難をも力に変え、身を立って彼らそこに相通する信念とは？



児童書

『レニーとマーゴで100歳』 マリアンヌ・クロニン(新潮社)

終末期医療を受けるレニーは17歳。病院内に新設されたアートセラピーで、83歳のマーゴと知り合う。ふたりは、年齢を合わせた100年分、1000枚の絵を描くことを思いつく。そして、互いに描いた絵について語り合うのだった。



『なかよしの犬はどこ?』 エミリー・サットン(徳間書店)

新しい家に引っ越してきたペニーは、庭に入りこんだ小さな犬と友だちになります。すっかり仲良くなつて、今日も遊ぶ約束をしていたのに、犬は姿を見せません。しょんぼりしているペニーに、お父さんがある提案をします。



おはなし会 毎週土曜日におはなし会をしています
 和田山図書館 10時30分から／14時から
 あさご森の図書館 11時10分から／15時15分から
★赤ちゃん向けおはなし会
 和田山図書館 4月23日(出)10時30分から
 あさご森の図書館 4月21日(内)11時から

雑誌リサイクル市
 保存年限の過ぎた雑誌を自由に持ち帰りいただけます。
 感染症対策のため、和田山図書館は2週に分けて行います。
 期間中の休館日をご確認のうえ、お越してください。
 あさご 4月9日(出)～17日(日)
 和田山①5月7日(出)～13日(金)②5月14日(出)～20日(金)

和田山・あさごのお休み：月曜日（祝日の時は翌平日） 生野のお休み：土・日・月・祝日
 ※館内整理日のため、28日(内)は休館します（生野図書室除く）

和田山図書館	☎ 672-1700
あさご森の図書館	☎ 670-4710
生野支所	☎ 679-2240



第173回

生野鉾山学校で学んだ
画家・高島北海

江戸時代末期の生野鉾山は地下深く掘る必要があったことや、排水の問題から経費がかさみ、廃坑同然の状態となっていました。日本初のお雇い外国人フランス・コワニエは衰微した生野鉾山を立ち直させるため赴任しました。手始めに今後どのくらいの鉾石が採取可能か調査を行ったところ、まだまだ現役鉾山だということが判明し、それまでの手掘りから機械や火薬を使う方法を用いたり、製錬に大きな機械を取り入れるなどの経営改革を行い、生野鉾山を日本を代表する鉾山に立て直しました。彼

の功績を高く評価した明治政府は、続々と優秀なお雇い外国人を全国各地、さまざまな分野で雇うことになっていきました。

コワニエは生野だけでなく、日本全体の鉾山に影響を与えたと言っても過言ではありません。その功績の一つに鉾山学校の創設があります。江戸時代には各藩に藩士の子弟などに学問を教える藩校はありましたが、全国から生徒を募って学問を教える学校はありませんでした。コワニエは自ら教鞭をとり鉾業知識を教えるとともに、現場での技術を合わせて教える鉾山学校を生野に創設し、全国から優秀な若者を集めました。卒業生たちは全国の鉾山で、その知識を活かし活躍しました。別子銅山で成功を収めた住友家の初代総理人広瀬幸平や、古河財閥を大きく成長させ「鉾山王」と呼ばれた中江種造が有名ですが、中にはその後異色の活躍をした者もいました。

その人物の名は高島北海（本名：得三）（1850 -

春

**新しいことにチャレンジ！
まずは気軽に運動から**

暖かくなり、新しい事にチャレンジするにはいい季節になりました。また運動を始めるにもいい季節ですね。運動の仕方が分からない人や一人ではやる気が出ない人はぜひ、あさごふれあいプールで運動しましょう。(プール・スタジオ教室実施中)

お客様のペースに合わせて運動ができます。お気軽にあさごふれあいプールにお越しください。スタッフ一同、心よりお待ちしております。



4月の休館日

4月から日曜日も営業再開します。
毎週水曜日・29日(金・祝)(昭和の日)



レティシア
Laëtitiaの

ぺちやくちゃ話や〜!

第五十五話 温症(あたしょう)

今年は非常に寒くて、春は何となくマイペースで来るようですね。私は極端な温度を好まない人間で、早く暖かくなることを願っています。

日本に来てから周りに、いつも寒がりな人がいます。そういう人は冷え症だと言われてますね。確かに、デスクワークをするときにひざ掛けを使う人も多いし、服は最低3枚、ときどき5枚も着ている人がいます。

実は私、冷え症の真逆で、いつも暑い人です。今のような寒さであっても、部屋の中にいるときは、インナー・Tシャツ・セーターのように、服を3枚しか着ません。また、健康のために、移動はできる限り歩くようにしています。活発に歩く人で、目的地に着くと



やはり暑くなってきて、一枚を脱いで、半袖で仕事をする事や授業を受けることになります。

しかし、体全体が暑くても、血行が悪いため、指先がいつも冷たい人です。体は不思議なものですね。

(秘書広報課国際交流員 ルヌブ・レティシア)

1931)。長州藩の藩医の家に生まれた高島は藩校・明倫館に学び、陸軍大将となる乃木希典らと研鑽を積んだのち、明治5年(1872)明治政府工部省に入省します。その後同じ工部省に属する生野鉦山でコワニエに地質学や植物学、フランス語などを学んだとされ、生野鉦山道修築(通称・銀の馬車道)にはフランス語通訳として携わっています。父の病のため官職を辞し郷里に帰っていた高島は、幼いころから学んでいた絵の素養を活かし、日本初の地質図「山口県地質図」などを書き上げています。父の死後、内務省に復帰、各省での勤務ののち、明治18年(1885)にフランスのナンシー森林高等学校に留学を命じられました。欧州各地で絵を描き、フランス東部美術展に日本画を出品した高島は、現地で高く評価され、アーヌ・ガレなどの作家エミール・ポニズムと交流し、ジャポニズムというヨーロッパにおける日本美術流行のきっかけをつくりました。52歳で職



高島北海(肖像画オーガン筆
日本経済新聞社掲載)



フランシス・コワニエ

を辞した後は精力的に作家活動に勤しみ、主に山水画や植物画を多く手がけ、文部省美術展覧会審査員を務めたり、作品が皇室に買い上げられるなど画壇で活躍しました。現在、あさご芸術の森美術館では「江戸から昭和へ紡ぐ日本画の美」(5月8日(日)まで)と題して、高島北海の作品10点をはじめ、伊藤若冲、狩野芳崖、谷文晁など日本画の名品84点を展示しています。生野ゆかりの画家・高島北海の作品を近くで見られる貴重な機会ですので、ぜひ足をお運びください。

皆さんの周りの身近な出来事や話題をお知らせください。

秘書広報課 ☎ 672-6113



竹田城跡 開山！

市は3月1日(火)、竹田城跡の開山に合わせて登城者を歓迎するイベントを開催しました。

当日は、大手門付近で甲冑隊と姫に扮した市職員が登城者を出迎え、パンフレットや缶バッジなどの入った記念品を配布したほか、「天空の城」から名付けられたヤギの「天」と「空」とのふれあいコーナーや音楽アーティストによる演奏会が行われました。

開山に合わせて登城した皆さんは、「開山を楽しみにしていた。城跡からの眺めは開放的な気分になって好きなので、何度も訪れたい」と話し、久しぶりの竹田城跡からの眺めを楽しんでいました。



齋藤兵庫県知事が来市 岩津ねぎ雪害被害状況を視察

2月11日(金)、昨年末からの大雪により朝来市の特産品『岩津ねぎ』に大きな被害が出ている状況を受けて、齋藤兵庫県知事が朝来市を訪れ、市内のほ場で被害状況の視察を行いました。

岩津ねぎの出荷数は視察時点で、例年の半分以下となっていました。

当日は、市役所で藤岡市長から岩津ねぎの被害状況の説明を受け、意見交換をした後、市内のほ場で生産者から説明を受けました。

兵庫県は補正予算を編成し、市内生産者に対する支援を実施されています。



田淵先生頑張っ！ 和田山特支援学校の生徒が応援

3月7日(月)、北京パラリンピックに出場した田淵伸司選手を応援しようと、田淵選手が勤務する和田山特別支援学校で生徒たちが試合を見守りました。

田淵選手は、男子スノーボードクロスの足に障害があるクラスの準々決勝に登場。学校では指導を受ける高等部の2年生12人が教室に集まり、「田淵先生頑張っ！」などと書かれた手作りのうちわを手に声援を送り、ゴールした際には、生徒らから大きな拍手が送られました。

生徒らと応援した藤岡市長は「生徒や市民に感動を与える立派な滑りでした」と健闘をたたえていました。



パラ正式種目『ボッチャ』研修会 朝来市スポーツ推進委員会

市スポーツ推進委員会は2月20日(日)、生野老人福祉センターで、パラリンピックの正式種目であるボッチャの研修会を行いました。

これは、スポーツ推進委員が市民の皆さんを対象に講習会を実施できるよう、技術の習得や指導の仕方を学ぶことを目的に実施。講師には、兵庫県障害者スポーツ指導員3人を招き、コート設営や講習会運営のノウハウなどを競技を体験しながら学びました。

委員は「障害者スポーツを、より身近に感じてもらえるよう普及に努めていきたい」と意気込みを語りました。



但陽信用金庫から彫刻作品が寄贈されました

3月9日(水)、但陽信用金庫より彫刻作品『オウシ・ゾウケイ 大地からのおくりもの 一林一』が寄贈されました。

寄贈された作品は、平成29年の日本遺産認定を記念し、彫刻作家の牛尾啓三氏の好意により朝来市に無償貸与され、JR生野駅西口広場に設置されているもの。このほど同金庫がこの作品を購入し、市に寄贈されました。

同金庫理事長の桑田純一郎さんは「これからもこの彫刻のように大地に根をはって地域とともに頑張っていきたい」と寄贈に至った経緯やこれからの想いを語られました。



西垣選手から野球道具が寄贈 梁瀬中学校野球部

梁瀬中学校で2月28日(月)、昨年のドラフト会議で楽天ゴールデンイーグルスから6位指名を受け、入団が決まった西垣雅矢選手から同校野球部に野球用具一式が寄贈されました。

当日は、西垣選手の父友良さんから道具が手渡され「皆さんの活躍を期待しています」と西垣選手からのメッセージが伝えられました。

また、選手を代表し同校2年で野球部主将の野田拓海さん(大内区)と副主将の藤原直生さん(田中区)が「西垣選手のように努力したい。道具は大切に扱いたい」と感謝を述べました。

兵庫県知事賞



藤原 常代さん
(藤和区)

2月27日(日)、豊岡総合庁舎(豊岡市)での令和3年度たじま夢フェスタの中で、兵庫県知事賞表彰式が行われ、市内在住の藤原常代さんが兵庫県知事賞を受賞されました。

藤原さんは昭和60年ごろから「和岡山生活研究グループ」の一員として、郷土料理「かまやき」のお手軽調理方法の開発と但馬地域への普及に携り、平成17年度からはグループリーダーとして「南但馬生活研究グループ連絡協議会」の理事、監事を歴任。生活研究グループの育成に尽力されるとともに、ふるさと但馬の郷土料理を次世代につなぐ活動を展開してこられました。



東河小学校と壱岐市箱崎小学校 オンラインで交流

東河小5年生が3月8日(火)、市と友好関係にある長崎県壱岐市箱崎小5年生とオンラインで交流を行いました。

これまで夏と秋に行っていた、直接お互いの地域を訪問する交流が中止となったため、オンラインでの交流を実施。交流会では、互いの地域の名所や特産を題材にしたクイズが出題されたほか、それぞれの小学校で、流行っているけん玉やだるま落としなどを実演するなど、児童らは交流を深めていました。

西垣かなでさん(久田和区)は「壱岐市のことを詳しく知れた。仲良くなれてうれしかった」と話していました。



連載企画

地域公共交通を考えよう

vol.1 「地域公共交通の担い手（運転士など）不足」



令和4年度を迎え、第3次朝来市総合計画がスタートしました。計画の中で『暮らしを豊かにする公共交通の確保』を掲げており、市としては、暮らしを支えるより良い公共交通となるよう、市民の皆さまと協力しながら、公共交通の維持確保や利便性の向上に努めていきます。本コーナーは、そのための一歩として、市民の皆さまに地域公共交通の現状についてご理解いただき、今後の地域公共交通について考えるきっかけの場になればと思っております。

記念すべき1回目のテーマは「地域公共交通の担い手不足」についてです。

バス業界を取り巻く現状

皆さんは普段お出かけする際、公共交通機関を利用されているでしょうか。自動車運転免許を持たない方などにとって公共交通は生活する上で非常に重要であり、特にバスは医療機関への通院や買い物に行くなど日常の交通手段として欠かせません。

そんな公共交通の一端を担うバスですが、その運行を支える運転士と整備士の担い手不足が問題となっています。

この問題については、以前より、運転士等の高齢化や若年層の就業率低迷による人材不足について問題視する声が挙がっております。この度、朝来市内の路線バスやアコバスを運行いただいている全但バス株式会社に現状をお伺いしたところ、全但バスに在籍する運転士は令和3年度時点で118人。年齢構成別で

は25～34歳が6人、35歳～44歳が10人、45歳～54歳が39人、55歳～64歳が48人、65歳以上が15人（平均年齢55.9歳）。以前は年間10人程度の中途採用の実績があったようですが、最近では求人募集をかけてもほとんど応募がないようです。

そのため、全但バスでは令和2年度から退職年齢を60歳から65歳に引き上げ、運転士などの人材確保に努めています。今後この状況が続けばバスの運行に支障をきたしかねないと懸念されています。また、整備士については、平成29年度から外国人技能実習生の採用も始めたそうですが、国の制度上、採用期間が原則3年であることや、コロナ禍により海外から日本への入国手続きが停滞しており、新たな採用ができない不安定な状況が続いているとのことでした。

地域公共交通の担い手確保に向けて

本市では、今後も持続可能な地域公共交通を確保していくため、広報誌等への運転士募集チラシやU-Jターン説明会への参画といった取り組みを行い、地域公共交通の担い手確保に努めています。運転士や整備士がいなければ、当然バスを運行することはできません。地域公共交通の担い手確保は決して交通事業者だけの問題ではなく、普段、公共交通を利用されない方にとっても、今後年を重ねて車の運転ができなくなる時のことを考えれば他人事ではありません。

今後も引き続き、地域公共交通が維持確保されるために、普段から市民一人一人ができることを考え、地域公共交通を支えていくべきではないでしょうか。

バスの運転士・整備士として働いてみませんか？

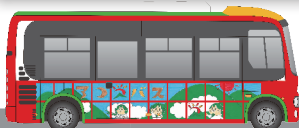
みんなのお出かけを支え、地域を元気にするお仕事です。詳しくは各事業所まで、お気軽にご連絡ください♪（男女問わず。大型二種免許取得支援制度あり）

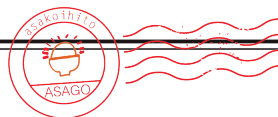
▶全但バス／総務課採用担当

☎ 079-662-2136

▶神姫グリーンバス／総務部採用担当

☎ 0790-32-1022





朝来市地域おこし協力隊

あさこいひと便り

《今月の担当》

レハン ネル

朝来市地域おこし協力隊「あさこいひと」のメンバーが毎月交代で執筆します！

緑と暖かさが戻ってくる春、私が生野町で活動を開始してから約1年8カ月が経ちました。コロナにより、困難な状況が続いていますが、いずれ訪れる国内外の観光客に備えるための静かな機会でもあります。



私のミッションは、生野町の空き物件の活用。また、ソーシャルメディアやお土産の開発、ツアーなどによる地域のプロモーションもそれに付随するミッションです。すべての活動をつなげてまちづくりをサポートし、できれば朝来市に住みたいと考えている若い人たちの雇用の場も、開拓したいと考えています。

昨年8月から、旧鉱山住宅を活用した宿泊事業「Ikuno Stay」の運営を開始しました。コロナ禍でも利用者は多く、特に年末年始は大忙しでした。宿泊客の多くは、田舎での滞在を体験したい大都市に住む20～30代の若者たちです。また、外国人居住者や家族連れも3分の1程度を占めています。さらに魅力を高めるため、宿泊と連動した体験ツアー

の開発も行っており、兄のケビンが行っているサイクリングプロジェクト「鉱石の道」を巡るサイクリングツアー、竹田城跡でのヨガ体験や矢名瀬酒蔵巡りツアーを開発しました。近日中にモニターも募集予定。また、国内外の旅行会社とツアーパッケージの可能性も検討しています。現在、清掃スタッフ募集中。また、ビジネスやツアーや新たなサービスなどの提案も大歓迎！一緒に何か面白いことをしたい人、どんなアイデアや提案もお待ちしています。ウェブサイト www.ikunostay.com をぜひご覧ください。

今の心配事は、任期終了後の在留資格の問題です。朝来市での快適な生活を続けるために、良い方法はないものかと、解決策を探っています。この問題を解決して、朝来市で住み続けたいです。



朝来市の旬な情報を、SNS やスマートフォンアプリで配信しています。下記QRコードを読み取りアクセスしてください。

facebook



マチイロ



市政や観光情報を市公式ページで発信中！

子育て情報を発信「あさごスマイルネット」

アプリをダウンロードすると広報誌が届きます！

市政情報を市公式アカウントで発信中！



編集後記

令和4年度がスタートし、今年度も昨年度に引き続き広報を担当させていただくことになりました。市民の皆さんに親しんでいただける「広報朝来」を作るよう今一層頑張ります。／また今月から、第3次朝来市総合計画のスタートに合わせて広報紙の表紙や紙面の構成を変更しました。「登場していただく皆さんの輝きや幸せの活動を大きく紹介したい」と考え、この表紙や裏面のデザインを採用しました。／今年度も、皆さんとのつながりを大切にしながら、市民の皆さんの幸せをお伝えできればと考えておりますので、1年間どうぞよろしくお願いいたします。◎

あさご市ポータルサイト
あさぶら
ASAGO CITY PORTAL SITE ASABURA

今月の朝来イチオシの話題

春の訪れ、川上の梅並木
【撮影地】川上

川上地区の梅が綺麗でした。伊由谷川沿いに並んで咲く梅は「目の神様」として知られる「青倉神社」に行く途中にあります。桜よりも一足早く咲く梅を見ながら、春の訪れを感じていました。

<http://www.asabura.jp/> 検索 あさぶら 朝来市



私の幸せ あなたの幸せ まちの幸せ

一般的に助産師の仕事は、出産に立ち会い、赤ちゃんを取り上げることと思われがちだが、長井さんは妊婦の健康管理・保健指導、出産後の体調管理・授乳指導など妊娠前から出産・育児に至るまで母子の健康を守るために活動している。「出産後は自由に動けず、誰とも会えない状況になりがちだが、コロナ禍でより一層、誰かに話を聞いてもらう機会が減っている」と長井さん。母子との交流会などの開催が制約される中でもLINEを活用するなど、何かあればすぐに相談してもらええる関係作りを心がけている。

妊産婦に寄り添う存在に



01

助産師

長井 順子さん(生野4区)

長井さんは朝来市を中心に活躍する助産師。出身地は姫路市で、学校を卒業後は姫路市内の病院に勤務していたが、配属された産婦人科で多くの妊産婦と関わる中で、ある一人の女性から「看護師ではなく、助産師にサポートしてほしい」と言われたことをきっかけに、「自分も助産師になろう」と決意し、助産師の資格を取得。自身の結婚を機に朝来市生野町へ移住した後、2002年に開業。地域の助産師として積極的に活動を続けている。

助産師としての幸せ

助産師という職業は、妊産婦の相談を受けることで、このころの余裕を作り、授乳など技術的な面だけでなく、精神的にも大きな支えになっている。長井さんは、「助産師という職業の存在をもっと広く知ってもらいたい」と考えている。助産師の仕事内容が認知されることで、悩みを持つ妊産婦が助産師に相談できることを知ってもらえれば、マタニティブルーや子どもの虐待の防止にもつながると信じているからだ。「自分が関わった赤ちゃんが成長する姿や、赤ちゃんの成長を喜ぶご家族の様子を見ると自分も幸せな気持ちになる」と笑顔で語ってくれた。

朝来市が目指す将来像

人と人がつながり
幸せが循環するまち

～対話で拓く朝来市の未来～

第3次朝来市総合計画(計画期間:令和4年度~令和11年度)

まち全体が幸せであるために、まず市民一人一人が幸せを実感できることが大切です。小さなことでも自分のやりたいことが実現できていると人は幸せを実感できます。そのうえ、誰かの役に立てたり、困ったときに頼れる人がいれば、次なるチャレンジに向かう勇気もわいてきます。

朝来市は、一人一人の幸せを育み、互いに響き合うことで、「人と人がつながり 幸せが循環するまち」の実現をめざしています。